

広報誌 すずかけ

鳥取県立厚生病院 Tottori Prefectural Kousei Hospital



すずかけQR

R7.06

第63号

この春、18名の新しい医師を迎え、当院は新たな一歩を踏み出しました。多彩な専門性と若い力が加わり、より充実した医療体制へ。地域の皆様に信頼され、選ばれる病院をめざして、職員一同、心を一つに歩み出します。新しい出会いがもたらす、可能性と飛躍の一年。



ワンチームで顔の見える多職種連携

松本：
新しいスタートを切った春、院長の思いを聞かせてもらえますか。

花木：
この度当院は、急性期医療に今まで以上に注力することを宣言させていただきました。これは「この地域で命を救う医療を確実に提供する」という強い使命感からです。急病や手術前後など、緊急度の高い疾患への即応体制を維持することが地域の皆様の安心のために最も重要だからです。

松本：
たしかに、救急搬送された際に、地域で対応できる病院があることは心強いですね。

花木：
そうですね。ただ、急性期医療が成り立つためには、十分な施設・設備に加えて多くの職員の尽力が必要となるため、その確保に走り回っています。そして患者さんが安定してからは回復期や在宅への移行も見据えた医療体制が必要です。そのためには地域の医療機関や介護施設との連携が欠かせません。

松本：
この春、組織改編を行いましたね。

花木：
はい。『患者支援・地域連携センター』という組織を立ち上げました。多職種で連携しながら、患者相談・入退院支援・地域連携を担当していることを、患者さんや地域の皆様にわかりやすくお伝えしたかったのが改編の理由です。

松本：
職員の連携が、患者さんの安心につながるんですね。

中核病院として、さらに機能を充実させます。
誠心誠意、皆様のご信頼にお応えします。

院長
花木 啓一



事務局長

松本 秀樹



地域の急性期医療の基盤を支え、住民に安心していただける
質の高い医療を提供できるよう、医療スタッフのサポート、経営の安定化を推進。

花木：
そう思います。当院の特徴のひとつは、「顔が見える連携」ができています。当院は規模としては中規模ですが、それゆえに部署間の距離が近く、コミュニケーションが取りやすい。救急の現場でも、情報がすぐに共有でき、次の対応が迅速にできます。これまでいろんな病院を見てきましたが、このことは当院の強みだと思います。

松本：
職員同士の関係性の良さが、患者さんにも伝わっているんだろうと感じます。

花木：
2年前に院長に就任してから「やりがいのある職場づくり」を全体目標として掲げてきました。やりがいを感じられる環境があってこそ、職員は前向きに働けるし、結果的に患者さんにも良い医療が届く。医療は人が支えているのだと、あらためて感じています。最新の設備や体制の整備はもちろんですが、「信頼に応える姿勢」を持ち続けることこそが何より大事で、職員のやる気の創出は私の院長としての役割です。

松本：
今後、病院としてどのような方向を目指していきたいですか？

花木：
今後も急性期医療を中心に据えつつ、患者さんが安心して地域で生活できる仕組みづくりを進めていきます。転院して終わり、退院して終わり、ではなく、「ここで治療を受けたあとは地域の中で支えてもらえる」という信頼感を提供できる体制にしたいですね。もちろん、必要なときにはいつでも厚生病院に来ていただいて。そんな安心を地域の中でつくっていき、皆様のご信頼に誠心誠意応えていくことが、当院の使命だと考えています。

新しく導入した機器・システム

NEW SYSTEM



乳房用X線診断装置(マンモグラフィ)

精度の高い診断を支援する機能として、1回の撮影で3D画像と合成2D画像を作成できます。乳腺構造の重なりによって、発見が難しかった病変の観察がさらに容易になりました。AI技術を活用してポジショニングを解析することでさまざまなタイプの乳房に柔軟に対応できます。圧迫自動減圧制御機能により、通常の圧迫方法よりも、最大圧迫となっている時間を低減し、受診者の痛みを和らげることができます。



電子内視鏡システム

内視鏡検査の精度と安全性を大幅に向上させる先進技術を搭載しています。鮮明な画像を提供し、微細な組織の観察が可能となり、深部の血管や出血部位を明確に可視化することで、迅速な治療ができます。血管や微細構造が強調表示され、がんなどの早期発見につながります。これらの技術により、より精度の高い診断と治療が可能となります。



鏡視下手術システム

安全性を高めるための最新技術として、最新の4K解像度と蛍光イメージング技術(NIR/ICG)を組み合わせた内視鏡手術用の革新的な映像システムを導入しました。特徴は、3D映像で映し出されることです。手術中はゴーグルを使用し、3Dで重要な構造物や血流が見やすくなり、より安全で正確な手術が可能になります。



ドライビングシミュレーター

頭の疾患などで入院された方の社会復帰支援を目的として、ドライビングシミュレーターを導入しました。実際の運転に近い環境で安全に動作を確認・練習できます。信号や歩行者なども再現され、判断力や反応のチェックも可能です。

待望の常勤皮膚科医

NEW FACE

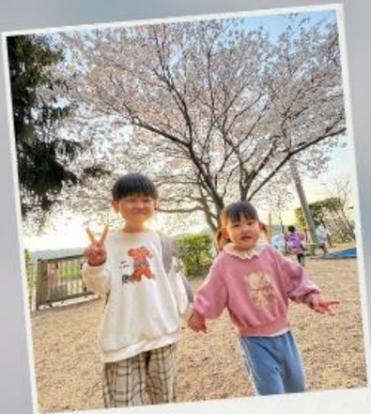
皮膚科/宮本達志

2025年4月より鳥取県立厚生病院皮膚科の常勤医となりました宮本達志と申します。2024年度より鳥取大学医学部附属病院で皮膚科医としてのキャリアをスタートしました。皮膚科医2年目であり学ぶことが多いですが、日々研鑽し症状改善のサポートをさせていただいています。



Dual Source(2管球)全身用X線CT診断装置

心臓や血管の検査に特化した最新のCT装置で、従来のCT装置と比べてより高精度な画像を提供します。特殊な技術により、心拍数が高い方や不整脈のある方でも、安定した画像を得ることができます。さらに、AI技術を活用した全自動撮影システムを搭載しており、検査の効率化と精度向上を実現しています。これらにより、患者の負担を軽減し、より迅速で正確な診断が可能となります。さらに、西日本では第一号の導入となり、地域医療の質の向上に貢献しています。



宮 笑顔も満開



S.マン 須磨水 楽しかったー



さくら大好き 春になるとついつい桜を写真に収めてしまいます



みい 我が家



ユキちゃん かわいいうちの娘



こぼやし お菓子大好き



うい 初めて白イルカを見て大興奮!



猫砂 白い猫と仲間たち



とっこ どんな夢見てるのかな...



gershwin 雪の日の砂丘



いち 道端の花



兄から預かった子猫。おもちゃに夢中で内股に!



あめゆき あなたには無理なサイズ(笑)



夏前なのにきれいに色づいた葉を発見

見せて! あなたのスマホのおすすめ画像

職員のおすすめ写真を集めました。あなたの心をくすぐる1枚はどれですか♪



テツ うちの癒し系



ルー



可愛いわんこたち。兄弟みたいに仲良し★



かつ 可愛い息子達♥



仕事帰りに思わずパシャリ!



帰りが遅くなっていた頃に癒されていた写真



たなが 何かもらえないか見つめてくる犬



青空を見上げて 厚生病院で生まれて6か月。こんなに大きくなったよ。みんなに笑顔を届けよう。



おぐ 可愛いカンゴちゃん



まいこ 仲良く眠る我が家のクワワ



かずまらぶ 一直線の綺麗な星が見れました!



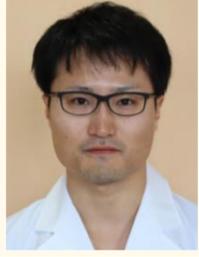
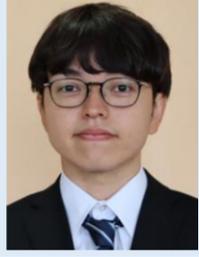
私たちの しんちゃん コスモス畑です



こおすい 双子まるぷー 予防接種後会計待ち



3papa ハーブガーデンでまつたり...

整形外科統括部長 林 育太 	泌尿器科部長 川本 文弥 	内科 大内 智貴 	内科 福田 真由 	内科 大濱 志之 	内科 岡田 捷豊 
消化器内科 中田 裕資 	消化器内科 大和 宗之輔 	消化器外科 多田 陽一郎 	胸部外科 山崎 雅也 	血管外科 小林 太 	小児科 室賀 千佳 
小児科 松井 亮仁 	皮膚科 宮本 達志 	麻酔科 坪 圭亮 	研修医 片山 あみ 	研修医 島津 結衣 	研修医 山内 優生 

健康公開講座

これだけは知っておきたいシリーズvol.4
学んで予防しよう～糖尿病とがん～
7/5 (土)

-  糖尿病とがんの関係について
内科部長 村脇 あゆみ
-  やさしく始める健康習慣
認定看護師 北尾 由里子
-  食事であなただの体を守りましょう
管理栄養士 林原 治子

13:30～15:30
倉吉交流プラザ
2階視聴覚ホール



申込フォーム

今年度の予定
10/4(土)、2/28(土)
 ※詳細は後日

詳しくは、
 当院ホームページを
 チェック▶▶▶



編集後記 Editor's Note

アンディ・ウォーフォール作 “ブリロ(Brillo)の箱”の作品解説に 「私達が日常のありふれた風景に、生活の中の品々に美の新しい可能性を見いだすことができるようになった時、アップデートされ、深められた美的感性は私たちのモダン・ライフをさらに豊かなものにした。」との一説があります。Brilloはスペイン語で“輝き”を意味します。さて建物としての病院は箱です。その箱に4月から表紙に彩られた新たな輝く (Brilloな) 18名の医師が着任いたしました。私達の日常は病院であり、前記文面を置き換えて新年度の病院風景を眺めると、美しくアップデートされ、新しい可能性を大いに見出すことができました。この春新設の鳥取県立美術館からわずか2分歩けば、厚生病院に到達できます。(副院長 紙谷秀規)



鳥取県立厚生病院
 Tottori Prefectural Kousei Hospital
<https://www.pref.tottori.lg.jp/kouseibyouin/>

〒682-0804 鳥取県倉吉市東昭和町150
 TEL (0858)22-8181(代)
 FAX (0858)22-1350